令和８年５月 26 日　　<社員総会参考資料>

(1)報告事項

第７期(令和７年４月１日から令和８年３月 31 日まで)事業報告

Ⅰ　事業の概況

一般社団法人化して６年になりますが、真庭市合併前からのコスモス祭り、北房ぶり市の協賛事業としてのフォトコンテストに加え、令和４年度からの日本財団渚の交番プロジェクト「里山里海交流館しんぴお」での自然保護啓蒙活動、その後の真庭市環境課の川ごみ海ごみ削減交流事業を継続的に行っております。令和６年度より取り組んでいる 国重の森活性化協議会の農泊推進事業(農水省)についても森パークでの新たな体験メニューの造成も多数でき、真庭観光局 SDGs ツアーの体験料と共に、収益事業となりました。「北房まちの駅」ゲストハウスの宿泊受託収入、移住定住促進で取り組んでいるお試し住宅の家賃収入も計上しております。(移住者実績も ３ 名)また、令和７年度より環境省の「良好な環境を活用した観光モデル事業」として実証実験を開始しており、環境省から受託を受けたクラブツーリズム(株)から雑収益 9,870 千円を計上し、岡山県の北房、日生、笠岡エリアの３拠点の連携組織 OSSU の体制づくりを行っております。インバウンドモニターツアー実施、OSSU ホームページも完成し、観光モデルの販売化も目指せる状況となっております。

当年度決算状況につきましては、収益事業会計の経常収益は 15,690 千円(内事業収益 4,483 千円、雑収益 11,207 千円(内環境省実証事業として 9,870 千円)、事業費 15,339 千円等を差し引き経常利益は 44 千円となりました。非収益事業会計の経常収益は 305 千円、事業費 304 千円を差し引き経常利益は１千円となりました。

令和８年度におきましても、引き続き地域の活性化事業に協賛すると共に、上部団体である真庭観光局(DMO)の協力をいただき、環境省の「良好な環境を活用した観光モデル事業」実証実験を行い、OSSU 組織団体と連携した森里川海連環の里山北房での魅力づくりによる、地域回遊、滞在型観光モデルの構築を目指してまいります。

社員の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。